

甲斐市議会 脱炭素社会推進事業特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和7年9月19日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

出席委員（7名）

副委員長	樋口孝之君	依田那津希君
	安倍健治君	保坂康君
	加藤敬徳君	金丸寛君
	小澤重則君	

欠席委員（2名）

委員長	赤澤厚君	松井豊君
-----	------	------

傍聴議員（5名）

議長	秋山照雄君	山本英君
	山坂賢太君	金丸幸司君
	滝川美幸君	

---

説明のため出席した者の職氏名

環境産業部長	中込広人君	脱炭素社会推進課長	石原大助君
政策推進係長	辻俊宏君	事業推進課長	花輪健司君

---

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中澤一昭	書記	深澤隼人
書記	圓谷孝宏		

## 審査内容

### 1 補正予算審査

議案第53号 令和7年度甲斐市一般会計補正予算（第3号）

（1）4款 衛生費 2項 環境衛生費

### 2 その他

開会 午後 1時27分

○書記（圓谷孝宏君） ご参集大変お疲れさまです。

ただいまから脱炭素社会推進事業特別委員会を開会いたします。

本日の委員会は、初めに副委員長よりご挨拶をいただき、副委員長の進行により議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、樋口副委員長、お願いいたします。

○副委員長（樋口孝之君） 改めまして、皆さん、こんにちは。ご参集、誠にありがとうございます。お疲れのところありがとうございます。

本日、赤澤委員長が所要で欠席ということですので、私が赤澤委員長の代わりの職務を務めさせていただきます。

まだ初めての議事進行ですので、どうかお見苦しい点もあると思いますので、どうかスムーズに議事が進むようにご協力をお願いしたいと思います。

そんなところで、ちょっと振り返ってみますと、今年の夏は本当に猛暑ということで、9月に入っても残暑が厳しくて、本当に熱中症対策、体調管理が大変だったなという夏でありました。そんなことは異常気象なのかなと、そんな思いで夏を過ごしましたがけれども、ますます脱炭素社会推進委員会は重要な貴重な委員会になるのではないかと私は思っております。

このたびも、8月のグリーン水素、米倉山の研修も行いました。そんなことで、どうか自然エネルギーをますます推進していく、化石燃料はなるべく少なくしていく、そんなような思いでまた脱炭素社会推進事業特別委員会を進めていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い致します。

以上です。

ただいまの出席委員は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより脱炭素社会推進特別委員会を開会いたします。

なお、先ほども話したように、赤澤委員長と松井委員が欠席の連絡がありましたので、ご報告をいたします。

なお、本日は傍聴を許可しますので、ご承知おきください。

本日の委員会は、今定例会初日に付託されました議案の審査を行います。

審査に入る前にお諮りします。本日は円滑な審査を行うため、タブレットに入れてあります議会審査日程により審査を行いたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（樋口孝之君） ありがとうございます。ご異議なしと認め、そのようにいたします。

---

○副委員長（樋口孝之君） 補正予算審査を行います。

議案第53号 令和7年度甲斐市一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

脱炭素社会推進課より、4款衛生費、2項環境衛生費について説明をお願いしたいと思います。

石原脱炭素社会推進課長、お願いします。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 脱炭素社会推進課より、9月補正予算につきまして説明をさせていただきます。

資料につきましては、補正予算説明書の28ページ、29ページをお願いいたします。

資料の28ページ上段の4款衛生費、2項環境衛生費、2目環境保全費になります。補正額は2,680万円の増額補正をお願いするものでございます。財源内訳につきましては、国県支出金としまして、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3,055万円及び一般財源は375万円の減額となります。

資料29ページをお願いします。

説明欄の事業名は005、脱炭素社会推進事業になります。18節負担金、補助及び交付金について、2,680万円の増額補正をお願いするものでございます。

内容につきましては、7月14日開催の本特別委員会において状況報告しておりますけれども、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス、いわゆるZEH住宅等に対する省エネルギー住宅等普及促進事業費補助金で、当初予算に1,000万円を計上しておりましたが、5月28日時点で予算額に達しており、現在申請受付を停止している状況でございます。また、本年10月から実施を予定している県と市の協調補助による甲斐市やまなしKAITEKI住宅普及促進事業と交付目的及び一部の対象が重複するほか、本年4月より住宅新築や増改築する場合は、省エネ適合判定が義務化されたことによりZEH住宅等が普及一般化してきたことから、省エネルギー住宅等普及促進事業費補助金は今年度をもって終了することといたしまして、年度内に対象となる省エネルギー住宅が完了する申請者に補助金が交付できるよう、過

去の交付実績を踏まえまして、Z E H住宅は20万円を120件、Z E Hマンションは60万円を2件、L C C M（ライフ・サイクル・カーボン・マイナス）住宅80万円を2件見込みまして、合計2,680万円の増額補正をお願いするものでございます。

なお、財源内訳の国県支出金の3,055万円から18節負担金、補助及び交付金の2,680万円を差し引いた375万円につきましては、当初予算に計上しました同事業に対しまして財源更生をするため、一般財源を375万円減額するものです。

以上、脱炭素社会推進課の補正予算の内容となります。よろしく願いいたします。

○副委員長（樋口孝之君） ありがとうございます。

石原課長より説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ここで委員並びに職員各位に申し上げます。

質問は一問一答とし、また質問、答弁は簡潔明瞭にさせていただきますようお願い申し上げます。

それでは、説明に対する委員の質疑を行います。

質疑等がありましたらお願いいたします。

加藤委員、お願いします。

○委員（加藤敬徳君） 今現在でこちらの申請件数というのはどれぐらいなのでしょう。

○副委員長（樋口孝之君） 辻政策推進係長、答弁をお願いします。

○政策推進係長（辻 俊宏君） お答えいたします。

今年度当初に1,000万円分の予算を頂く中で、Z E H住宅が39件、Z E Hマンションが1件、L C C M住宅の2件ということで、合計で42件の申請をいただいております。こちらに交付決定を既にしております。

○副委員長（樋口孝之君） 加藤委員、どうぞ。

○委員（加藤敬徳君） 確認なんですけれども、そっちの計42件というのは、当初予算の中で何とか賅えた。それとも、足りなくて、今回補正。

○副委員長（樋口孝之君） 辻政策係長、どうぞ。

○政策推進係長（辻 俊宏君） 先ほど申し上げた42件については、当初予算で交付をさせていただいたものです。こちらが5月末までに申請をいただいております。その後の相談件数がございます。その後が、現在31件相談を交付決定後にいただいているところでございます。

○委員（加藤敬徳君） 分かりました。

○副委員長（樋口孝之君） ほかに質疑はありますか。

〔発言する者なし〕

○副委員長（樋口孝之君） なければ委員の質疑を終了いたします。

これより討論、採決を行います。

まず、本案に対する討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（樋口孝之君） 討論なしと認めます。

これで討論を終了いたします。

これより議案53号について採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（樋口孝之君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、委員会報告につきましてはご一任をお願いしたいと思います。

以上で議案第53号を終わります。

これをもちまして本委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

委員におかれましては慎重審査、誠にありがとうございました。

次に、その他に入ります。

委員よりその他がありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（樋口孝之君） 事務局、お願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、脱炭素社会推進事業特別委員会を閉会といたします。

閉会 午後 1時38分